

新庁舎建設・ローカルベンチャー事業 進捗状況を調査 市政調査会

〔調査日〕

平成29年1月12日

〔調査研修箇所〕

あすもあ遠野

〔参加議員〕
17名

市政調査会の1月例会として二つの調査を行なった。

①「遠野市本庁舎建設工事の進捗状況と工事期間の大幅な遅れの原因について」

地下1階の掘削工事において、大量の地下水が出水したこと、周辺住民の井戸が45カ所も有り対応に追われ、難航したことなどが原因との説明があった。

議員からは、非常用発電機の設置や屋上にソーラー発電システムの設置などについて、質問があった。

新庁舎の工期は本年7月末までで、9月供用開始される予定である。

②「遠野ローカルベンチャー事業の取り組み



中長期的な目で地域活性化に向けた効果が注目される地域おこし協力隊

について」

この事業は、平成27年11月から事業化に向けて検討され、平成28年12月の移住者等起業支援拠点施設開所まで約1年かかった。地域おこし協力隊として10名の募集に対し478名の応募があり、現在9名の隊員が遠野に移住し活動しているとのことだった。

ビール、発酵、低コスト住宅、遠野デザイン、遠野の食について等、多種多様な取り組みで、第1次、第2次、第3次産業を横軸に、6次産業を縦軸とした総合産業の振興に寄与することが大いに期待されることと見守っていかねければと感じた。

新庁舎の工期は本年7月末までで、9月供用開始される予定である。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く16人の議員で構成、委員長荒川栄悦議員、副委員長細川幸男議員）は、条例11件、予算15件、その他6件について付託を受け、審議を行いました。

区画整理事業の保留地処分の見込みは

〔問〕 稲荷下第二地区土地区画整理事業の保留地は何筆で、見直しはあるか。

〔答〕 区画整理は予定通り進められたが、保留地は4筆増えて21筆ある。現在、4筆売却予定であり、その他2筆に問い合わせがある。

〔問〕 売却価格の見直しには、地元周辺の方々の理解や協力も必要と考えるか。

〔答〕 平成27年度評価員会に土地の評価について諮り、その結果を審議会へ報告し、価格を見直して保留地の売却を進めている。

また、自治会や地域の皆様にも理解してもらいながら取り組む。

吉祥園裏の法面を調査

〔問〕 調査の目的は。

〔答〕 東日本大震災発災後、建物等に地盤沈下が認められた。そこで

吉祥園裏の法面を測量し、法面の安全性を確認する。併せて必要な地質調査を実施するものである。

〔問〕 発災後6年が経過している。この間、不安を抱えたままだったのか。

〔答〕 建物裏の法面は、目視では変化が見受けられない。しかし、100%安全かと問われれば判断ができない。改めて調査し、安全性を再確認するものである。

2運動施設の使用料について条例の一部を改正

〔問〕 どのような考えのもと、陸上競技場と多目的運動広場の使用料を改定しようとするのか。

〔答〕 陸上競技場と多目的運動広場は、国体開催に合わせて天然芝を整備し、グレードアップ

放射能汚染対策調査特別委員会報告

〔調査日〕

平成29年1月12日

〔調査研修箇所〕

あすもあ遠野

〔参加議員〕
17名

第4回委員会を開催し、市当局から説明を受けた。調査項目は2点で、原木しいたけの取り組み状況と汚染牧草の管理状況、そして今後の処理方針についてであった。

原木しいたけの新たな植菌本数は、汚染処理本数28万2千本に対して17万9千本の見込



再ラップ化され集約保存されている汚染牧草
宮守町の西部集中保管施設

みである。43名の生産者中、一部解除は22名にとどまっており、今後の取り組みとしては、生産者全員の全面解除に向けた除染対策と放射能汚染ホダ木チップ1760トンの焼却処分が必要であると感じた。

汚染牧草についても、処分方法が決定していないため、ラップの劣化と腐敗防止のために、現在3カ所に保管している4626個1170トン再ラップし、2カ所に集約。今後の焼却処分に向けて管理していくとのことであり、委員会としては県内の関係市町が一体となって、県や国に対して早急な対応を求めていくことを強く要望した。

設定について、更に検討を続ける。

公の施設の指定管理者の指定は

〔問〕 かわぎだいら交流施設の前回の契約期間と今回の契約期間は。

〔答〕 前回は10年であり、今回は業者と協議の上で3年である。

〔問〕 営業により、収入があった場合は誰が受け取るか、もし赤字になった場合の対応は。

〔答〕 営業収入は指定管理者に入り、指定管理者で賄えない赤字の場合、指定管理者が責任を持つ。

〔問〕 民間感覚を生かした有効活用はできないか。

〔答〕 新たな契約のもとで、自主的な活用を協議していきたい。

〔問〕 現在の鱒沢やな場との関連については。

〔答〕 管理は地元の自治